

「神の御心を行う者は永遠に生き続ける」

2018年07月24日

ヨハネの手紙 一 2章12節～17節 子たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／イエスの名によって／あなたがたの罪が赦されているからである。父たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／あなたがたが、初めから存在なさる方を／知っているからである。若者たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／あなたがたが悪い者に打ち勝ったからである。子供たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／あなたがたが御父を知っているからである。父たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／あなたがたが、初めから存在なさる方を／知っているからである。若者たちよ、わたしがあなたがたに書いているのは、／あなたがたが強く、／神の言葉があなたがたの内にもあり、／あなたがたが悪い者に打ち勝ったからである。

世も世にあるものも、愛してはいけません。世を愛する人がいれば、御父への愛はその人の内にありません。なぜなら、すべて世にあるもの、肉の欲、目の欲、生活のおごりは、御父から出ないで、世から出るからです。世も世にある欲も、過ぎ去って行きます。しかし、神の御心を行う人は永遠に生き続けます。

主イエスは「最後の晩餐」に決別説教をされ、最後に「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」と締めくくられた。福音は既に与えられ、主イエスの勝利に与り、永遠の命を受けている。信仰は、この恵みの現実を喜ぶことである。ヨハネの手紙（一）の著者は、既にいただいた救いを感謝し、「わたしがあなたがたに書いているのは」と呼びかけ、下記のことを書いている。① 子たちよ、イエスの名によって、あなたがたの罪が赦されているからである。② 父たちよ、あなたがたが、初めから存在なさる方を知っているからである。③ 若者たちよ、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからである。④ 子供たちよ、あなたがたが御父を知っているからである。⑤ 若者たちよ、あなたがたが強く、神の言葉があなたがたの内にもあり、あなたがたが悪い者に打ち勝ったからである。「ヨハネ教団」に集い、主イエスの福音を聞いた者たちは、十字架によって既に罪が赦され、初めから存在するロゴス・キリストとあなたがたの御父を知り、悪い者に打ち勝ち、神の言葉がいつも内にある。この世の苦難に遭遇していても、あなたがたは既に、主イエスの救いに与っていると、全てを「是」としている。

パウロはコリント書（二）1章19節、20節で「あなたがたの間で宣べ伝えた神の子イエス・キリストは、「然り」と同時に「否」となったような方ではありません。この方においては「然り」だけが実現したのです。神の約束は、ことごとくこの方において「然り」となったからです。それで、わたしたちは神をたたえるため、この方を通して「アーメン」と唱えます」と書いている。信仰は、主イエスが「然り」を実現してくださったことに対し「アーメン」と応答することなのである。

この「然り」の福音に留まるために、神に絶えず目を向け、神の御心を求めよと勧める。肉の欲、目の欲、生活の驕りは、過ぎ去っていくこの世のもので、それらに心を奪われ、愛してはならない。世を愛する人には、神への愛が内にない。神を愛し、御心を行う人が永遠に生きる祝福に与る。永遠に生き続けるとは、神の命の中に置かれているということである。